

一般社団法人神戸市老人福祉施設連盟

平成28年度第三者評価外部評価

特別養護老人ホーム西神戸エルダーハウス

総合評価(外部評価)

組織の理念、方針に沿って、事業計画や事業目標が設定され、職員1人1人が実践する必要があるが、直近の事業計画等で確認できていないものもあり、明確な提示や職員への周知が必要である。各担当の職員はそれぞれの役割を持ち、良好な人間関係の中、少ない人員で日々のケアに一生懸命取り組んでいる姿勢が伺える。施設空間は広く、余裕を持って設計されている。立地的な面はあるが、その空間を活かし、ボランティア等外部から今以上の受け入れを行う等で、開かれ、地域に貢献できる施設になる可能性は期待できる。

特筆すべき項目・取り組み(外部評価)

職員の人材不足の中、入居者のために「楽しませてあげたい」「しっかりとケアをしてあげたい」といった職員の思いを強く感じる事ができた。家族懇談会や入居者懇談会では意見集約や情報伝達を行っており、又、業務改善プログラムでは、職種を越えての会議を実施するなど、有意義な取り組みとして評価できる。施設で自慢できる事としてオムツ外しへの取り組みが挙げられていたが、入居者だけでなくケアを行う職員にとっても目に見える目標であり、引き続きの取り組みを期待する。

改善が必要な項目・ポイント(外部評価)

一部のマニュアルが未整備であったり、研修実施が行われていないなど、所々に不備が見られた。職員が不足する中、マニュアルの整備は新しい人材に対しても、効率的な指導につながり、日々のケアにも有効に活用されるものと思われ、整備が必要と感じた。又、働く職員の研鑽の機会として、内部、外部問わずの研修参加や、学んだ知識を共有するための伝達の機会などの確保も必要と感じた。